

団体名 名古屋水域研究会

団体概要

名古屋近傍の水域をフィールドに水辺や河川治水，利水舟運，流域問題をテーマに活動します。名古屋では産業交通，社会経済の変化により舟運や産業遺構が消失ないししておりわずかに残った遺構を活かした河川整備や都市整備での保全活用います。

活動名：舟運遺構の保全・舟遊びによる水辺の活性化

R3活動【舟運遺構の保全，接岸可航調査，関係者調整，舟遊び実施】

1

活動の目標と達成度合い



整備中の岸壁

○R2に接岸試験した「沖正商店岸壁」を拠点に堀川・朝日橋から錦橋間で舟遊びを行った。
船外機付き和船[L:7.85m13人乗り]

○堆積土砂や植物の除去を行って安全で快適な乗下船環境を確保した。

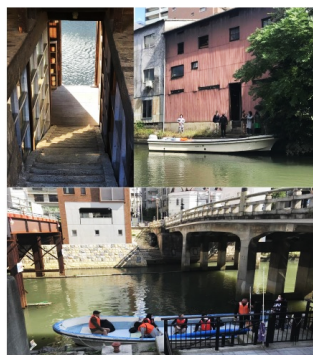
○庄内川松蔭公園の階段護岸への着岸乗下船試験を行った。

2

活動の成果 (活動を通して得られた成果)

○COVID対策から舟遊び希望者への呼び掛けは地元学区を中心に舟遊びが実施出来た。

○かつて水泳場だった庄内川の松蔭護岸，大当郎レガッタ護岸でも接岸乗下船が可能で庄内川河口部も安全航行可能なことが確認できた。



10月30日(土) 堀川の舟遊び体験と 舟運遺構見学

水辺のとびからの舟遊び

名古屋台地の縁を流れる堀川は慶長15年(1610)名古屋城構築資材を運搬のため福島正則が開削して城下の物資補給や尾張藩直轄の本倉谷からの運材を担いました。堀川で生まれた木材産業と技術は現在のもづくり産業へと発展しています。東船場所では江戸時代の石積みを見て触ることが出来ます。沖正商店は1690年(元禄3年)創業の材枿木材の隣に在りましたが1937年(昭和12年)に名古屋駅移転に併せた桜通の拡幅整備により当地に移転して現在に至ります。

雨天・強風時は中止です。名古屋都市センターまちづくり活動助成により実施します

日時 10月30日(土)
12時から14時

場所 (株)沖正商店
(中区丸の内1-12-8)

堀川沿いの材木店です



五條橋から南に80M

参加協力費 500円
小学生は無料
必ず保護者と一緒に参加ください

参加申込・問合せ先
名古屋水域研究会
meisuiken@gmail.com



3

目標達成のために努力したこと（工夫）

○R2に案内した堀川右岸の円頓寺界限では関心が薄かったことから左岸側の名城小学区を重点に広報した。

○所有者の沖正商店に登録地域建造物資産制度を紹介したところ名古屋市に申請されることとなり舟運遺構の保全にも好影響が期待される。

○企業ヒアリングを行いマスツーリズム指向、左岸四間道に接岸希望、気軽な舟遊びは商業ベースに乗らない。
今回のような舟遊び、七里の渡しなどが先行事業者との争いにならないことを確認できた。

○気軽な舟遊びや水辺を楽しむ機会がリピート需要を喚起するので事業者と市民との意識差がある。



4

活動で得た学び（みんなに伝えたいこと）

Adaptive reuseで堀川に残る舟運遺構をまちづくりに活かすこと



安全に接岸や乗下船可能である舟運遺構を維持保全することは産業遺産、歴史文化のみならず市街地に残された身近な自然・水辺をもっと気軽に市民が楽しむことに役立つこと、名古屋駅近くから他の水域、七里の渡しなどの舟旅に気軽に出発できる環境を整えることは全国の水辺や街道愛好家に広まる活性化につながると思われる。

